

堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第12号 ～開園準備号～

発行：平成18年3月25日 堺市公園緑地部 監修・制作協力：大阪府立大学大学院 生命環境科学研究所 緑地計画研究グループ 編集協力：いっちゃんクラブ

いっちゃんクラブ活動報告（平成17年度）

組織名称の変更

開園後に親しみを持って呼んでもらえるよう「堺自然ふれあいの森委員会」から「いっちゃんクラブ」に変更しました。

※「いっちゃん」とは上神谷・美木多地域で使われている言葉で、ふれあいの森で多く見られるシリブカガシ（常緑高木）のことです。

組織・運営の見直し（下欄参照）

市民組織としての充実化を図るため運営面で主体的に関わってもらえるコアスタッフを希望制で募り、さらにその中から事務局長、副事務局長、事務世話役、活動世話役、監査を定めました。

また、全体の意思統一を図るため今までの班体制を担当制（広報、イベント企画、環境教育、調査・研究、環境教育、樹林管理、農作業体験）に改め、新たに市民のみでの会議（コア会議、世話役会）を設けました。

ルールづくり

一般利用者のルールについて検討すると共に、クラブ規約の策定準備を行いました。また、活動を安全に継続していくため、草刈機については安全講習を受けた登録者のみ使用できることとしました。

散策路・ゾーニング計画（内面参照）

散策路については現地踏査を行い、自然への負荷や安全性などを考慮し、

自由散策路とガイド付き散策路の設定を行いました。また、森の主要な場所や散策路の名称を定めました。



ゾーニングについては、平成14年度の合意しているエリアに、ルートや活動地の場所を勘案し、再設定を行いました。

農作業（内面参照）

水田管理については、水管理や除草など頻繁に手入れが必要となるので、全体活動及び各活動日に出来るだけ組み込むことにしました。

また、イベントに活用しやすい根菜類を中心に、どんぐり苗や蕎麦、椎茸などの栽培にも取り組みました。

樹林管理（内面参照）

一般来園者の利用を想定し、危険箇所の改修、注意看板の設置を行うと共に、ガイド付き散策路のゲートを設置しました。

また、昨年度に開拓したコナラの丘をはじめ、散策路などに繁茂してくるネザサを刈るなど維持管理にも取り組みました。

調査活動（内面参照）

開園時の資料としてだけでなく、今後の里山の維持管理方針を立てる上での基礎となる植生調査を行いました。また、昨年度に引き続き野鳥・水生生物調査やモニタリング調査（林床・湿地管区域）を行いました。



他団体の受入（内面参照）

開園後、スムーズに団体を受け入れるため、ふれあいの森での活動に参加の申し出を行った団体に対し、森の案内や解説を行い、里山活動の体験をしてもらうなど、積極的に受け入れを行いました。



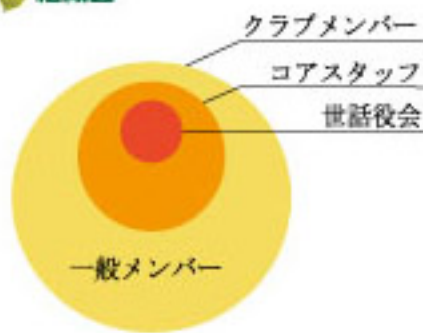
展示物の収集

森の館に展示する自然をテーマとした標本や写真、クラフトなどを、クラブメンバーの呼びかけにより収集しました。

指定管理者との連携

クラブ運営に関するサポートやコーディネートを行って頂けるよう、意見交換を行いました。

組織図



会議の種類

会議名称	頻度	参加者	主な議題
総会	1回/3月	クラブ全員、大学、市	組織や活動のルールなど
運営会議	1回/1月	世話役会、大学、市	運営のルール、開園に向けての課題整理など
コアスタッフ会議	随時	コアスタッフ	世話役会のルールなど
世話役会	1回/1月	世話役会	活動計画など

散策路整備

● 安全対策
運営会議での議論や現地踏査を行い、以下の最低限必要な安全基準を定め、安全対策を施した。

- ＜自由散策路の整備水準＞
 - ・最低幅員を約60cmとし、その上空高さ1.5m以下にある硬い下枝は剪定する
 - ・散策路沿いの立ち枯れ樹木やネザサの切り株は出来るだけ速やかに撤去する
 - ・急斜面には階段を設置する
- ＜ガイド付き散策路の整備水準＞
 - ・踏み分け道程度とする
- 注意看板等の設置
 - ・転落の恐れがある場所や、敷地境界の不明瞭な場所などには、注意看板やロープ等を設置した。
- 排水処理
 - ・散策路の流れ滞り防止や安全な通行のために、水の通り道に排水管を設置した。



野鳥調査

- 調査期間
平成16年7月～平成17年7月
- 生息区分内訳
種の構成および、出現した野鳥の延べ数共に、留鳥が全体の60～70%を占めており、野鳥の繁殖場に適している事が判った。(種数51種)
- 調査ルート別内訳
出現数の多い順に、①法道寺川、②林縁部、③尾根部、④第2豊田川となった。
- 法道寺川沿いの出現数が多いのは、湿地や水田、畑、草地、樹林地など多様な環境があり、餌を探るのに適しているからと思われる。
- 林縁部はもともと野鳥の出入りが多く、落葉広葉樹の若葉に付く虫を食べに来る。
- 尾根部は比較的単一な環境のため野鳥は少ないが、営巣場所や止まり木となっている。
- 第2豊田川沿いの出現数が少ないのは、調査時間が比較的少なかったこと、ブッシュ化していることなどが影響していると思われる。



水生生物調査

- 春期調査
水溜りやため池でオオアイトトンボのヤゴやマツモムシ、ニホンアカガエルやカスミサンショウウオの産卵などが見られた。
- 夏期調査
水を張ったばかりの水田に、チビゲンゴロウやヒメガムシ、ケシカタビロアメンボなど(夏に水田で繁殖→秋に水辺を離れて越冬→初夏に水田に戻る)が見られた。
- 外にも、トノサマガエルやマガエルの産卵、シュレーグアオガエル(初夏に「キリリ キリリ」という少し金属的な声で鳴く)、ギンヤンマのヤゴ、ヒメモノアラガイ、サカマキガイ、オオアメンボなども確認された。
- まとめ
大阪北部のような、豊かな環境が残された里山に比べると、水生生物相は貧弱であると思われる。また、アメリカザリガニやウシガエルといった外来種も多く生息している。
- しかし、大阪南部の平地の水田地域に比べると、生き物の種数は多く、シュレーグアオガエルやカスミサンショウウオなどの、水辺と雑木林を必要とする生き物も見られていることから、現在の環境を維持することは重要であると思われる。



相観植生図 (平成17年11月9日現在)

山本氏論文要旨

大阪府立大学の大学院生、山本氏より2月25日の総会で「自然環境ポテンシャル評価に基づく里山管理計画に関する研究」について報告を頂きました。以下にその一部として「里山の評価システム及び総合評価結果から得た整備方針」をご紹介します。

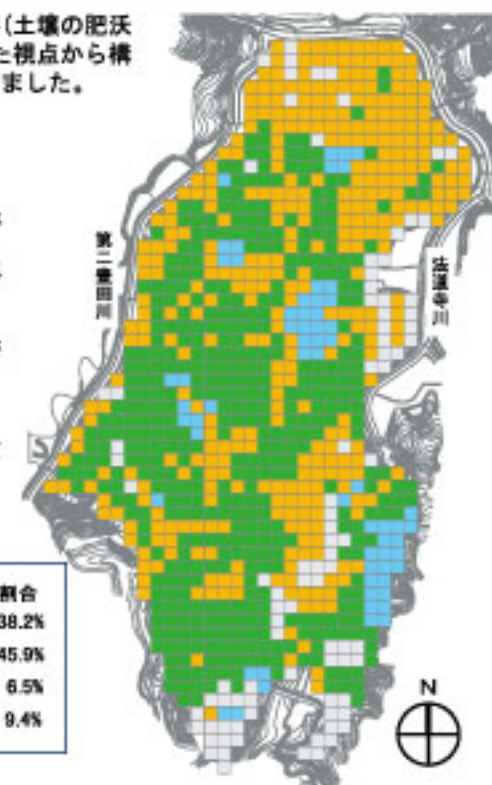
自然環境ポテンシャルに基づいた里山の評価システム(下図)を傾斜度、微地形(土壌の肥沃度)、特異地形(開放水面)、相観植生、植物の貴重種、利用施設と散策路といった視点から構築するとともに、その評価結果(右図)を用いて今後の里山管理計画の方針を探りました。

総合評価結果から得た整備方針

- エリア毎及び目的に応じた管理 ⇒ 多様な側面を持つ里山が目標像
- 動的活動林
 - ・林内景観は明るく開放的でアクティビティの高いコナラを中心とした落葉広葉樹の高木林を目指し、林外の景観は色彩豊かなものとする。
 - ・常緑樹の伐採・落葉樹の密度管理・林床管理を管理のベースとして、さらに目的に応じた管理を行う(自然遊び型/自然散策・探勝型/花木観察型/広場散策路整備型など)。
- 自然学習林
 - ・野鳥観察や環境教育、調査研究といった活動に適合するような生物の多様性を向上させる管理を行う。
 - ・すべてのエリアを一様に管理するのではなく場所ごとに適したモザイク管理を行う。
- 自然生態林
 - ・自然環境保護・野生生物の生息・生育地の保全のため、人の利活用を制限し、自然の質の維持・回復を目的とする里山を目標像とした整備を行う。



※ この研究成果は今後、森の管理運営していくための検討資料として役立てていきます。



米作り

- 昔ながらの農作業を体験
 - ・機械や化学肥料、農薬を使わず栽培するとともに、子ども達に農作業の大切さを学んでもらう機会を提供するため、もち米(平成16年度に収穫したモチミノリから育てた苗を利用)を栽培した。
- 準備作業
 - ・11月～1月にかけて土への酸系補給、土中の虫の駆除を行うため、土の荒起しを行った。その後、圃田と中央部に溝を掘り乾燥させた。
 - ・5月に再度田起しを行い、土を細かく砕いた。水入れ後の保水性向上のため、畦の土固めと畦塗りを行った。また、水田底からの漏水防止や植付け面を水平にするため、代掻きを行った。
- 田植え(6/5)
 - ・25cm位に成長した苗(約2600株)を子ども会の皆さんと植えつけた。(約200㎡)
- 維持管理
 - ・水調整(1回/1日)、除草(1回/1週)
 - ・中干し(7/25～8/4)
 - ・落水(9/22)
- 稲刈り(10/6, 10/15)
 - ・稲束で乾燥
- 脱穀(10/27, 籾の重量約130kg)
 - ・シート上に広げて自然乾燥
- 籾摺り(11/19, 玄米の重量約110kg)
- 精米(11/19, 白米の重量約100kg)



他団体の受入

- 鳳南小学校若草子ども会
 - ・田植え(6/5, 20名)
 - ・ふれあいの森の概要説明、田んぼの教室、田植え、ジャガイモ掘りなどを行った。
 - ・稲刈り(10/15, 50名)
 - ・稲刈り講習、稲刈り、サツマイモ掘りなどを行った。
 - ・餅つき(12/17, 56名)
 - ・ゲーム、餅つき、芋煮などを行った。
- だいたう森づくりクラブ(8/27, 11名)
 - ・ふれあいの森の概要説明、現地案内、質疑応答、意見交換などを行った。
- 花と緑のまちづくり交流会(9/17, 16名)
 - ・ふれあいの森の概要説明、現地案内、下草刈り体験、サツマイモ掘り、樹名あてクイズ、クラフト、質疑応答などを行った。
- 有馬富士クルー講座(1/28, 30名)
 - ・ふれあいの森の概要説明、現地案内、下草刈り体験、質疑応答、意見交換などを行った。



ちょっとお勉強のコーナー その10 『春の野鳥』

厳しい寒さの冬が去り、待ちに待った春が到来しました。暖かな日差しに誘われて、生き物達もそろそろ動き出します。朗らかなこの季節を歌声とともに知らせてくれる鳥たちは恋の季節です。今回は春の里山に見られる鳥たちを紹介します。

カワセミ

上面は青緑色で、顔から後頭は羽の先端近くに青い斑があります。その容姿から鳥の宝石とも言われます。日本各地で見られ、平地から低山の河川、池、湖沼に生息しています。魚を狙うため、高速で羽ばたき空中で停止するホバリングをします。



モズ

日本各地で見られる鳥で、平地から山地の公園・明るい林・林縁・農耕地等に生息しています。秋の間にとらえた獲物を木の枝に刺して、寒さがきびしく獲物の少ない冬に備える「はやにえ」をします。



カワラヒワ

日本では、カワラヒワ、オオカワラヒワ、オガサワラカワラヒワが見られ、平地から低山の草地・林縁・農耕地・市街地の公園で生息しています。繁殖期にはオスがメスに餌を与える求愛給餌と呼ばれる行動が見られます。



参照 「里山大百科 いちばん身近な自然の四季」 大久保 茂徳・平野 伸明・新開 孝
監 大阪府立大学 岩崎 龍太郎

座長のコラム ～開園にあたって～

平成13年度より、堺自然ふれあいの森の管理運営について市民、大学、専門家、堺市で議論を重ねてきました。開園までの重要な議論を進めて頂いた大阪府立大学の増田教授に、開園にあたってのコメントを頂きましたので、ご紹介致します。

2002年3月の「ふれあいの森管理運営準備委員会」の発足以後、「森の学校」をテーマに市民や市役所の方々、学生らとともにゆるやかに活動を進めてきましたが、この度、「堺自然ふれあいの森」として正式な開園を迎えるのは感慨深いものがあります。

このふれあいの森は、堺市の中で唯一豊かな自然が残された南部丘陵の一角に位置し、中でも、田畑やため池・水路等の水系と背景の樹林地がセットになった貴重な里山であります。しかし、長年放置されたことによって環境の劣化した部分も多々あります。

この4年間、ネザサやクズ等に覆われていた田んぼや樹林地が、ほんの一部ではありますがみんなの協力によってよみがえり、林間には広場や自然散策路、観察路も整いつつあります。また、里山の解放や活動の拠点となる「森の館」も完成

しました。

この間の田んぼや畑での農作業体験や樹林の管理作業では多くの汗とともに子ども会やガールスカウト等も招き、かけがえのない喜びも得てきました。また、植生調査や野鳥の観察、湿地や樹林の管理区域の設置などの調査活動も活発に行われ、ふれあいの森の理解が徐々に進みつつあります。さらに、当初から市民の方々の主体的な関わりが目指され、活動組織もこの間幾度となく改善を重ねられることによって、昨年9月には「いっくんクラブ」としての自立化も図られました。

この4年間の成果は多くの人々のおしめない協働によって得られたものであります。一方で開園を迎えるにあたっての最低限度の基盤が整った状態にあるともいえます。樹林地や農地、湿地等の管理、自然学習や自然遊び等に関わるプログラムの運営など、課題や楽しみもまだ

まだ多くのものが残されています。自然と人とのふれあい、人と人とのふれあいを大切にしつつ、里山の環境とじっくりと応答しながら、みんなの力によってゆっくりとこの堺自然ふれあいの森が育まれていくことを祈念します。



プロフィール>>>増田昇（ますだのぼる）/1952年大阪の泉州に生まれる。77年に大阪府立大学大学院農学研究科修士課程を修了。88年に農学博士（大阪府立大学）。97年に教授になり現在に至る（公立大学法人大阪府立大学大学院生命環境科学研究科）。専門はランドスケープ・アーキテクチャーで都市や自然地の風景計画や緑地計画、緑を通じたまちづくりが研究の主なテーマである。

問合せ先

堺自然ふれあいの森 森の館
TSOグループ（指定管理者）

〒590-0124 堺市南区畑1740番地
電話：072-290-0800 FAX：072-290-0811

ホームページアドレス

<http://www.sakai-fureainomori.jp>

アクセス方法



泉北高速鉄道
泉ヶ丘駅下車
南側2番のりば
鉢ヶ峯行き
公園墓地北口下車
（徒歩約15分）

※日曜祝日は堺公園
墓地直行使有り
（堺市立霊堂前バス
停より徒歩約5分）

info
インフォメーション